

山口大学留学生の生活実態調査

現状の分析と課題

渡 辺 淳 一

要旨

平成17年10月現在308名の留学生が山口大学に在籍している。国際センターでは、留学生の日本語教育はもとより、勉学・研究・生活面での指導相談、文化体験プログラム・地域や学内一般学生との交流プログラムの計画立案と実施、留学生会館入居・入国管理事務・奨学金申請手続き等の支援を行なっている。

留学生がこのような大学の支援体制をどう受け止めているのか、山口大学での勉学・研究環境をどのように捉えているのか、さらには、どのような問題を抱えているのか、センターまた大学に何をどうして欲しいのか、といったことに関して留学生の生の声を聞き、今後の留学生支援の改善に資する。

キーワード

留学生支援、宿舎、奨学金・授業料免除、交流、日本語、日本事情

0. 留学生センター（現、国際センター）は、平成15年山口大学が実施した全学テーマ別自己評価のうち「国際的な連携及び交流活動」の分野の自己評価のために、評価委員会に協力して、同年6月、山口大学に在籍する全ての留学生を対象にアンケート調査を実施した。その結果は同年7月に出された自己評価の中で簡単に報告されている。本稿は、アンケートの各項目について少し詳細にその結果を紹介、分析し、今後の留学生の支援体制の充実に資することを目的に筆者がまとめたものである^{注1}。

1. 山口大学に学ぶ留学生の統計を見ると、平成7年161名あった留学生の数は、その後の10年間に図1のように年々少しずつではあるが増え続け、平成16年10月現在では山口大学には306名の留学生が在籍している^{注2}。次頁の表1は留学生の所属学部・研究科別の内

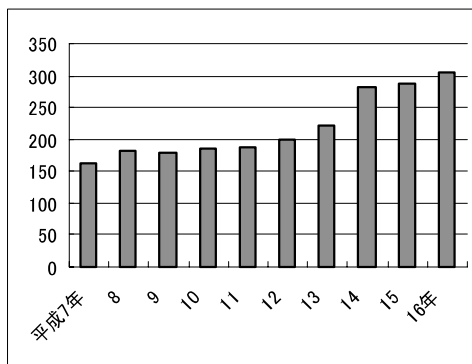


図1

訳である。

留学生は大きく正規生と非正規生とに分けられ、さらに、正規生は大学院生と学部学生に、非正規生は特別聴講学生、研究生、予備教育生に分けられる。非正規生のうち特別聴講学生は山口大学の協定校からの交換留学生、日本語・日本文化研修留学生であり、研

研究生は通例大学院進学を目指す学生である。

予備教育生は大使館推薦の大学院予備教育生と日韓理工系学部留学生で、6ヶ月間国際センターに所属し日本語・日本事情の授業を受講する。その後、大学院予備教育生は学部の研究生となり大学院進学準備をする。日韓理工系学部留学生は理系の学部の正規学部生として登録される。表2は山口大学に学ぶ留学生の身分別の学生数を表したものである。

大学院生	185
学部学生	60
研究生	32
特別聴講生	26
予備教育生	3
合計	306

表2

2. 平成14年度に留学生センターが開設されるまでは、留学生の世話や支援については、学内に一本化された窓口はなく、学生が所属

する学部の教務担当の事務職員がその任にあたってきた。また、留学生の研究指導教官も、研究指導にとどまらず生活面でのケアのためかなりの負担を強いられていた。このように、留学生に対する支援体制は十分というには程遠い状態がしばらく続いていた。このような状況に鑑み、山口大学では平成13年度、今後さらに留学生が増える見通しに立ち、留学生に対する研究・勉学・生活面での支援体制を整え、さらには一般学生の海外留学を支援する体制作りを目的に、平成14年4月省令施設として留学生センターが設置された。

開設時、留学センターには併任のセンター長の下に5名の専任教員と事務担当として留学生課(課長、係長、事務員、事務補佐員各1名)が配置され、留学生の支援を行なうこととなった。教員は主に留学生の日本語教育、勉学・研究・生活面での指導相談、文化体験プログラムの計画立案と実施、地域や学内一般学生との交流プログラムの実施等の業務を担

	16年後期 留学生数	アンケート 実施時の 留学生数	アンケート 回答者数	回収率 (%)
人文学部	20	15	9	60
経済学部	74	58	29	50
医学部	24	20	14	70
農学部	11	16	15	94
連合獣医学研究科	5	7	2	29
教育学部	19	18	16	89
理学部	12	12	12	100
工学部	102	98	87	89
東アジア研究科	23	21	13	62
連合農学研究科	13	12	8	67
国際センター	3	0	0	
合計	306	277	205	

表1

当した。一方、留学生課では留学生会館入居、見学旅行の計画・実施、山口地区留学推進懇談会の開催、入国管理事務、奨学金申請手続き等をはじめとする事務的な業務を担当した。山口大学に学び研究している学生・研究者が所期の目的を無事に達成し、山口での生活により思い出を作って母国に帰ってもらいたいというのが留学生と身近に接しているセンター教職員全員の偽らない気持ちである。

留学生センター開設2年目に、留学生が山口大学での勉学・研究体制をどのように捉えているのか、さらには、日本での生活をどのように送っているのか、どのような問題を抱えているのか、センターまた大学に何をどうして欲しいのか、といったことに関して留学生の生の声を聞く必要があるという見地からアンケート調査を実施した。

3. 本アンケートは16年6月時点で在籍していた外国人留学生277名に無記名で回答を求め、205名からの回答があった。(回収率: 74%)

実施したアンケートは本稿の稿末に参考のために掲げているが、その質問項目は以下のようにグループに分けることができる。第1のグループは回答者についての情報で、所属学部・学科、身分、出身国・地域、山口大学

在学期間、帰国までの期間、日本在住期間等を聞いた。第2のグループは山口大学についての質問で、山口大学を留学先に選んだ理由、山口大学の勉強・研究についての満足度、山口大学の留学生サポート体制、チューター制度、勉強や研究で困っていること、改善を望むこと等を聞いた。第3のグループは生活一般に関わる質問で、山口での生活の満足度、困っていること等を聞いた。第4のグループは交流に関する質問で、山口大学が企画する留学生のための行事、地域との交流行事について聞いた。以下では、質問グループ毎にその回答状況を見、さらに筆者のコメントを付加していきたい。従って、以下に取り上げる回答はアンケートの質問の番号順にはなっていない。

4. 回答者の個人情報について

4.1 回答者の所属学部・学科は前ページの表1のとおりである。

4.2 回答者の身分別内訳は表3のとおりである。

学部生	大学院生		研究生	特別聴講生
	修士課程	博士課程		
43	58	77	17	10

表3

4.3 回答者の出身国・地域別内訳は表4のとおりである。

4.4 「あなたはいつまで山口大学にいますか」

本学に在籍する留学生のうち49%弱の学生

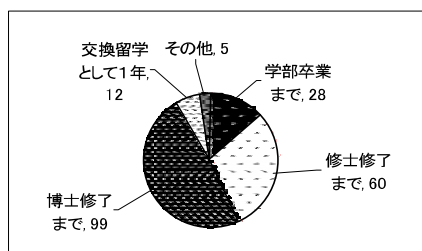


図2

が博士課程修了まで研究を続けることを目標にしており、修士課程までの30%弱の学生を合わせると全体の78%の学生が大学院での高度の研究を目標に留学していることになる。

5. 以下は、回答者が山口大学を留学先に選んだ理由、山口大学での勉強や研究環境をどのように捉えているか、どのような問題を抱えているか、に対する質問の回答結果である。

5.1 「あなたが山口大学を選んだ理由は何か」(複数回答)

205人の回答の中、「自分が指導を受けたい先生

が山口大学にいるから」と「自分と同じ国の友人・知人が山口大学にいるから」が63人と64人で最も多かった。(図3)何を基準に留学先大学を選んだかを留学生に直接面談で聞いてみても、学会誌等で自分の関心のある分野の研究をしている研究者を調べたり、自国の指導教官にアドバイスを受けるという回答が最も多い。

この二つの回答に次ぐのが42人の回答があった「山口大学のホームページや大学案内パンフレットを見て」であった。

「その他」では、具体的な記述を求めたが、そのいくつかを以下に紹介する。

- ・中国の日本人の先生からの推薦
- ・山口の物価が安く暮らしやすいからと高校の担任からの薦め
- ・山口大学に留学生が少ないんじゃないのかと思ったので

中 国	126
韓 国	13
マレーシア	15
バングラデシュ	9
タイ	10
台湾	5
ヴェトナム	5
インドネシア	3
合衆国	1
イラン	2
インド	2
ブラジル	2
タンザニア	1
連合王国	1
トルコ	2
スリランカ	1
エジプト	1
ペル	1
ジンバブエ	1
ウズベキスタン	1
ロシア	1
メキシコ	1
パラオ	0
ヴェネズエラ	0
不 明	1

表4

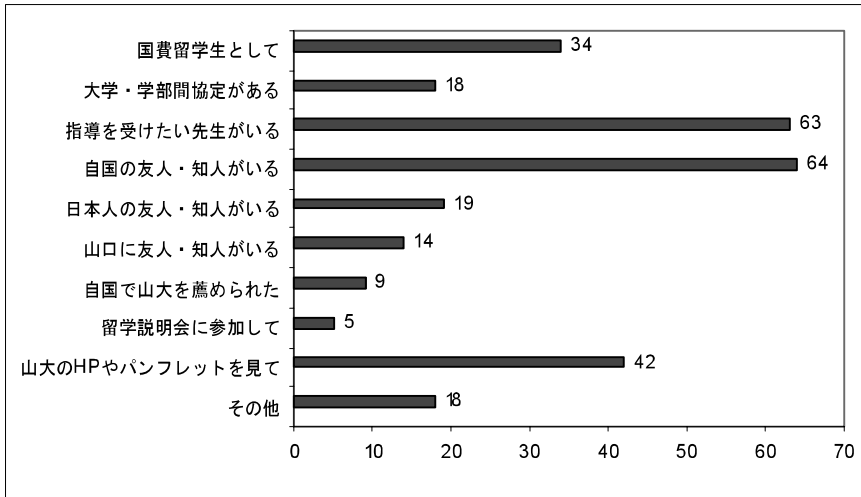


図 3

- ・ 研究分野の一致 / ウェブサイトで研究課題にあう教官を見つけた
- ・ 学外に友人がいる

留学生増を山口大学の国際化の一つの目標とするならば、次のような点を大学の構成員は承知しておくべきである^{注3}。

- (1) 山口大学の教員が高度の研究成果を公にし、多くの海外の研究者の目に触れることはこの目標達成に大いに貢献すること
- (2) 現在山口大学に学ぶ留学生に、より良

い研究・学習環境を提供し、満足してもらうことがこの目標達成の大きな要因であること

- (3) 山口大学のホームページと大学案内パンフレットの充実が求められること

5.2 「山口大学での勉強で困っていることがありますか」(複数回答)

次に、山口大学の勉強で困っていることについて複数回答で答えてもらった。

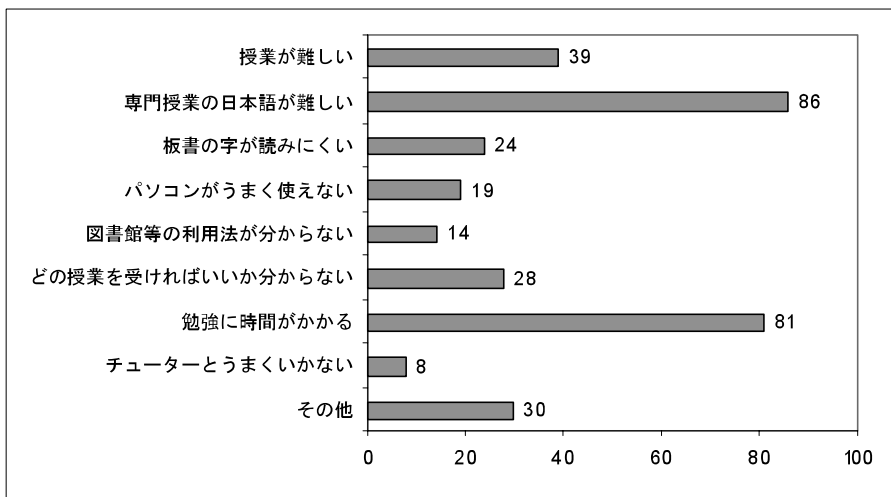


図 4

回答の中で最も回答数が多かったのは「専門の授業の日本語が難しい」(86)で、それに次ぐのが「日本人の学生より勉強に時間がかかる」(81)であったが、日本語が難しいから勉強に時間がかかるわけで、両回答は密接に関係している。

この回答結果から、今後の対策として、以下のようなことに取り組む必要がある。

- (1) 入学前の留学生の日本語能力を入学要件としてもう少し重視する必要がある。
- (2) 共通教育科目としての日本語の受講を義務付け、学部の授業と重ならないように日本語の授業時間帯をブロックするなどの方策を講じる必要がある。
- (3) 学部での専門の授業についていけるだけの日本語能力を培うよう日本語・日本事情のカリキュラムの一層の充実が求められる。
- (4) 大学の国際化に伴い一人一人の教員が自分の担当する授業の受講生の中に留学生がいるかいないかを確認し、留学生がいる場合には板書や自分の話す日本語にも気を配る配慮が必要になろう。
- (5) 先輩のアドバイスを受けてどの授業をとるかを決めている留学生がいるが、相

談相手を持たない留学生に対して受講科目のアドバイスができる人員の配置に配慮すべきであろう。

- (6) 国際センターの教員が図書館と協力して図書館の利用についてガイダンスを学期当初に1回実施しているが、いろいろな理由で参加できない留学生が多いのが実情である。常時留学生に対応できる体制の整備が望まれる。

その他のコメント。

- ・生活費のためアルバイトをしなければならぬから、勉強時間が不足です(3)
- ・大学のインフラストラクチャが良くない/教えるシステムが古い
- ・授業が下手
- ・カリキュラムの英語版がない
- ・カリキュラムについて、入学したとききちんと説明して欲しい
- ・6ヶ月間日本語を習ったが、もっと漢字を知る必要がある
- ・専門の授業時間と日本語の授業時間が重なる(2)
- ・研究のため日本語学習時間がない

5.3 「留学生に対する山口大学のサポート体制がどうなっているか(困った時にどこへ行けばいいかなど)、あなたは知っていますか」

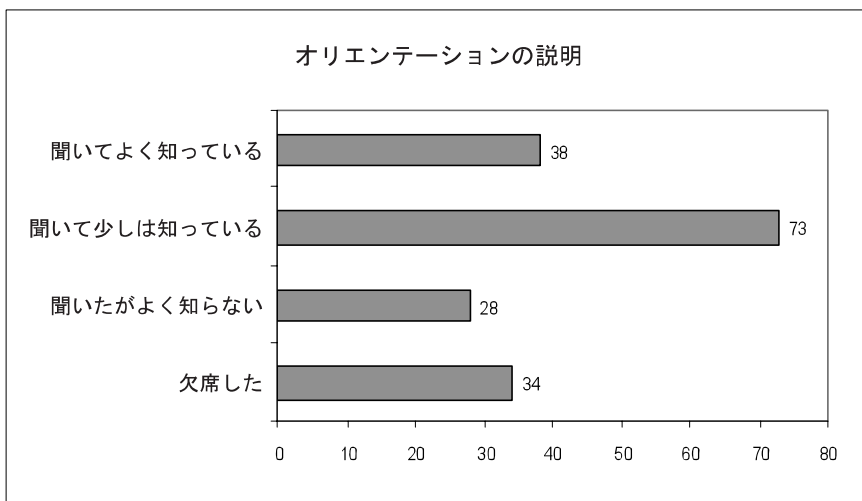


図5

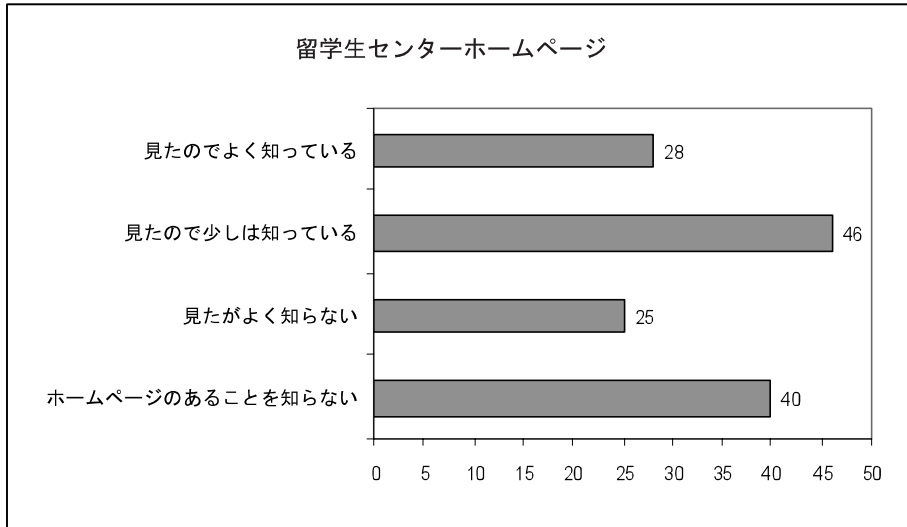


図6

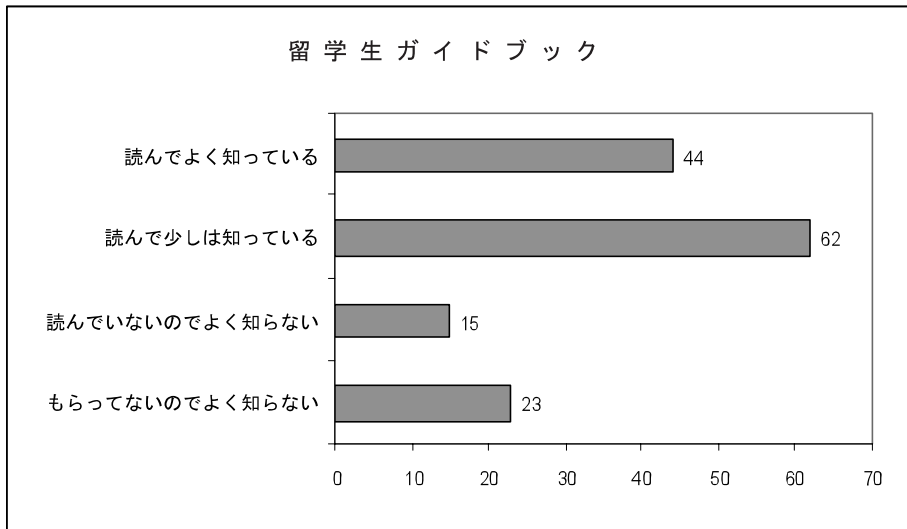


図7

留学生センターでは、山口大学に入学してくる留学生にいろいろな方法で、大学のサポート体制についての情報を提供している。まず、新しく入学してくる留学生には学期始めに新留学生研修会やオリエンテーションを実施している。また、留学生センターのホームページでも留学生を対象に情報を流している。さらに、留学生のためのハンドブックを作り全ての留学生に配布している。このよう

な3段階への対応をしているけれども、まだこの情報を知らないという留学生も回答からは見られる。今後の対応を検討する必要がある。

5.4 「山口大学のサポート体制(先生の指導・チューター制度など)にどれくらい満足していますか」

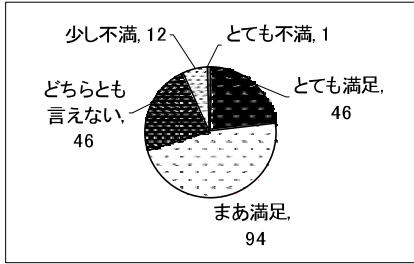


図 8

「とても満足」と「まあ満足」を合わせると、回答者の70%強の回答者が山口大学のサポート体制に「満足」している。この割合をどう見るかは人によって異なるであろうが、このパーセントを高める努力は怠ってはいけなだろう。

5.5 「あなたはチューター制度に満足していますか。」

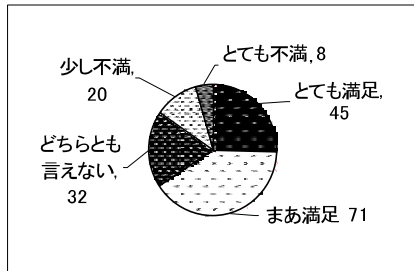


図 9

山口大学のサポート体制のうち、特に、チューター制度について、その満足度を聞いた。その結果が図9である。「とても満足」と「まあ満足」を合わせると116人の回答で、それは全回答者の約66%弱である。満足していない116%の回答者には次の質問で、チューター制度のどこが不満かを複数回答で問うた。その結果が図10である。

この質問に関連して、205人の回答者のうち180名は山口大学にチューター制度があることを知っていたが、23人の回答者がチューター制度のあることも知らないと答えている。知らないと答えた回答者のうち、チューターを必要としない学生であったのか、必要とするが知らなかったのかは、回答からは分からなかった。

留学生が大学の学業を成功裏に修了できるかどうかにはチューターの果たす役割は非常に大きいものがある。センターの教員に相談に来る留学生の問題の多くは専門の学業に関するもので、それらの相談の対応にはセンター教員には自ずと限界があり、学業に関する問題の解決にはチューターの果たす役割が大きい。

また、回答からも分かるように、留学生のチューターに対する期待も様々で、チューターも自分の学業を持つてのチューターであ

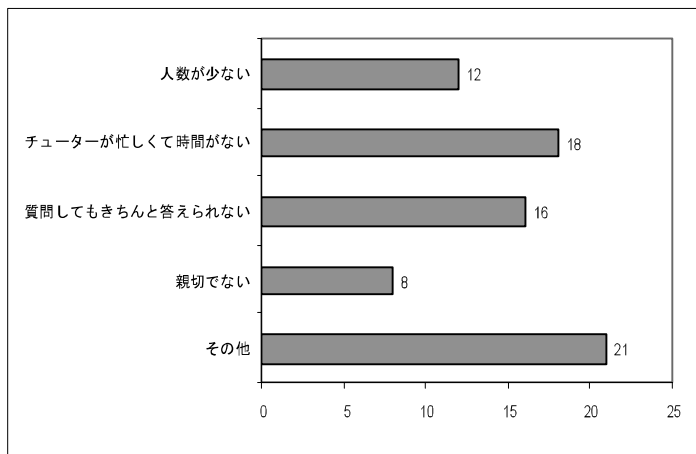


図10

り、チューターと留学生のマッチングが必ずしもスムーズにいかない場合も少なからずある。国際センターでは、平成16年度にチューターマニュアルを作成し、チューターに対しても留学生の支援についてアドバイスを実施している。

今後、どうしてもマッチングに問題(留学生のほうからでもチューターのほうからでも)がある場合には、他のチューターに変更できるような支援体制の検討も必要であろう。

マレーシア政府派遣の学部留学生の場合は、入学の時点からチューターをつける必要があるが、実際にチューターが付くまでには時間がかかるのがここ数年の実情であるが、入学時点でチューターをつけることができるように制度を改善することが強く望まれる。

その他のコメント。

- ・チューター制度はいいが、決められた方しかなくていただけないので、あまり意味がないです。
- ・チューターをやってくれる学生の中に留学生の世話をしようと思っている人が少ない。時給の高いアルバイトだと思っている人が多い。
- ・1年だけで期間が短い
- ・二人とも忙しくて勉強の時間が合わない
- ・指導時間が2時間と制限されているが、増やして欲しい

- ・チューターの選考と私の知りたいことがすれ違っていた

5.6 「困った時にだれに相談しますか」
(複数回答)

留学生は、困ったときには「同国人の留学生」と「指導教官」に相談に行く。この回答は十分に予想できることである。留学生は、研究面に限らず、生活・就職等さまざまなところで指導教官を一番頼りにしているということである。(図11)

5.8 「山口大学での留学生生活で改善してほしいことがありますか」(複数回答)

山口大学に在籍する留学生306名のうち、学費・生活費を自分で工面しているいわゆる私費留学生は71%強の218名にのぼる。したがって、山口大学での留学生生活で改善を希望する点は、「安い宿舎の確保」「奨学金支給の機会を増やして欲しい」「アルバイトをもっと紹介して欲しい」のように経済的な問題と関係した項目が多い。今回の質問の選択肢には入っていなかったが、「授業料・入学金の減免」も留学生からよく耳にする要望である。

その外に回答数が多かった要望事項は、「留学生が他の留学生や山口大学の一般学生と接触する機会をもっと作って欲しい」であ

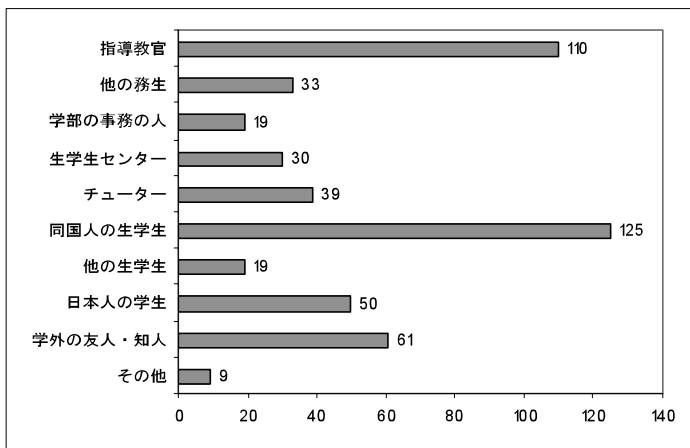


図11

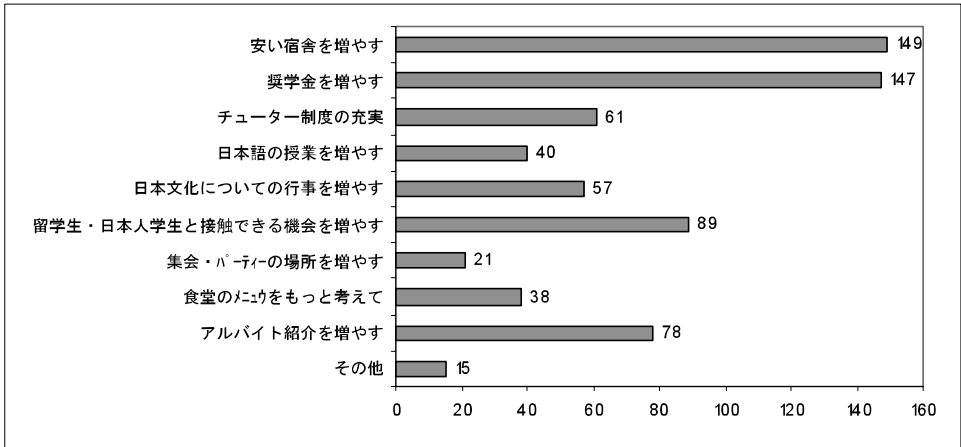


図12

る。これは留学生が一般学生との交流を求めているということであり、国際センターのみならず学部・学科・研究室単位でも積極的にそのような場を設けて支援する必要がある。

その他として、記述されたコメントを以下に紹介する。

- ・奨学金選考の公正さ（2）
- ・英語で事務官に対応してもらいたい / 英語で申請書や書類を用意してもらいたい
- ・できるだけ日本語の授業を受けたい。教授法を統一して欲しい。
- ・入学金と学費が高い、また免除になるチャンスが少ない
- ・国際交流会館へのインターネット導入

- ・家賃が高いため、学生寮に入れて欲しい
- ・交流会館よりも長く住める施設（2）

5.9 山口大学では留学生センターはじめ学部、学科、研究室等で留学生を対象に様々な行事を企画実施している。90%強の留学生が何らかの形でこれらの行事に参加している。行事に参加した留学生に「行事に参加してよかったことは何か」をたずねた。その回答結果が図13である。「日本の文化等について知ることができた」「友人ができた」「大学・学部・学科のことが良く分かった」などの回答が多く、交流行事が留学生によって高く評

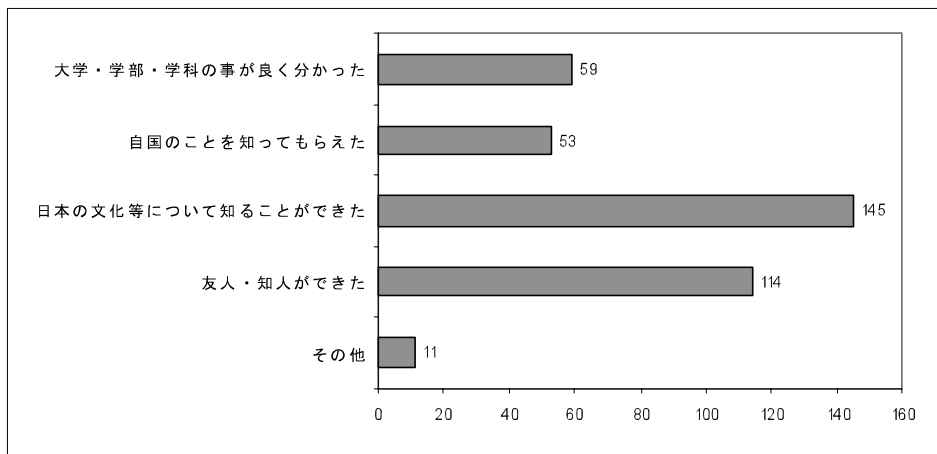


図13

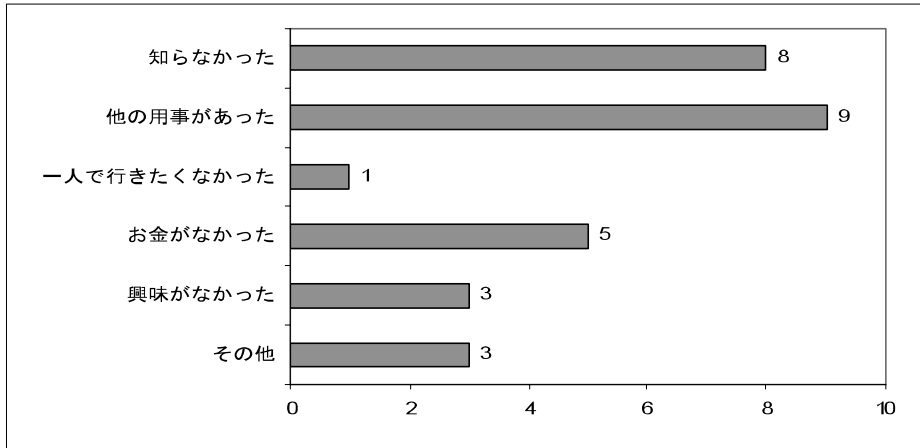


図14

価されていることが分る。

僅かではあるが行事に参加しなかった学生に行事に参加しなかった理由をたずねた結果が図14である。「興味がなかった」という学生は仕方がないが、できるだけ多くの学生が参加できるようにオーガナイザーは気を配る必要がある。

6. 以下は山口の生活についての質問である。

6.1 「山口での生活にどれくらい満足していますか」

山口大学を留学先に選んだ理由の中に、「山口は生活費が安く暮らしやすい」、「気候がよい/自然が多く、歴史的な場所だ」、「勉強に邪魔になるものがない」などが複数の回答者によって挙げられている。「とても満足」

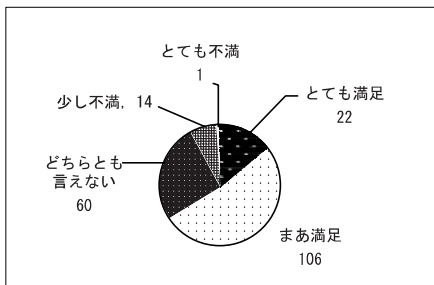


図15

(11%)と「まあ満足」(52%)合わせて63%強の回答者が山口(宇部を含む)の生活に満足している。

一方、山口の生活に不満を持っている回答者は、「交通などが不便」、「アルバイトを探すのが難しい」、「山口市は田舎」をその理由として挙げている。

6.2 「毎日の生活で困ることは何ですか」(複数回答)

全留学生の70%以上の学生は私費留学生としてアルバイトで授業料と生活費を工面している状況では、毎日の生活で困ることも経済的な問題が多い。大都市圏の大学に学ぶ留学生と比較した場合、山口での生活費は全般にわたって安いことは留学生も良く知っている。それでもなお、山口での毎日の生活で「住居費・物価が高い」と感じるのは留学生の出身国や地域と比べるからであろう。

「日常会話が十分にできない」が回答の35%を占める。大学院に入学してくる学生の多くは日本語学習歴のない学生が多い。特に、理工系の大学院生にはその傾向が強い。理工系の教員からは、英語で指導するし英語で論文を書くので日本語で時間を無駄に使う必要はないと言う声を耳にする。確かに、研究では

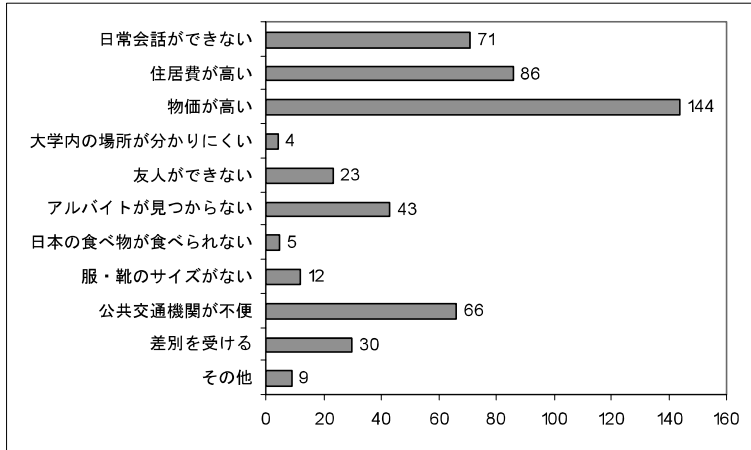


図16

日本語の運用能力は求められないかも知れない。しかし、日常生活ではある程度の運用能力は欠かせない。研究の時間を割いて日本語の学習を推奨する必要がある。支障のない日常生活は研究のスムーズな遂行に大きく資することは実証されているのだから。

その他のコメント。

- ・外国人として差別される(アルバイトを探すときよくあった)
- ・中国人と友達になりたい日本人はあまりいない
- ・日本語で高度なコミュニケーションができない

6.3 留学生センターでは、県や市町村の諸機関、民間団体、ボランティアの方々の協力を得て、それら諸機関・団体が主催する行事に、勉強や研究に支障がない範囲で積極的に参加できるように窓口となってその広報を行なっている。これら行事の中には、講演会・シンポジウム、高校・中学校・小学校への派遣、田植えや稲刈りなどの地域の仕事体験、料理講習等を通しての交流会、地域の祭りへの参加、ホームステイ等があり、60%の学生がこれら行事のいくつかに参加している。参加した学生に地域の行事に参加して何がよかったかをたずねた結果が図17である。

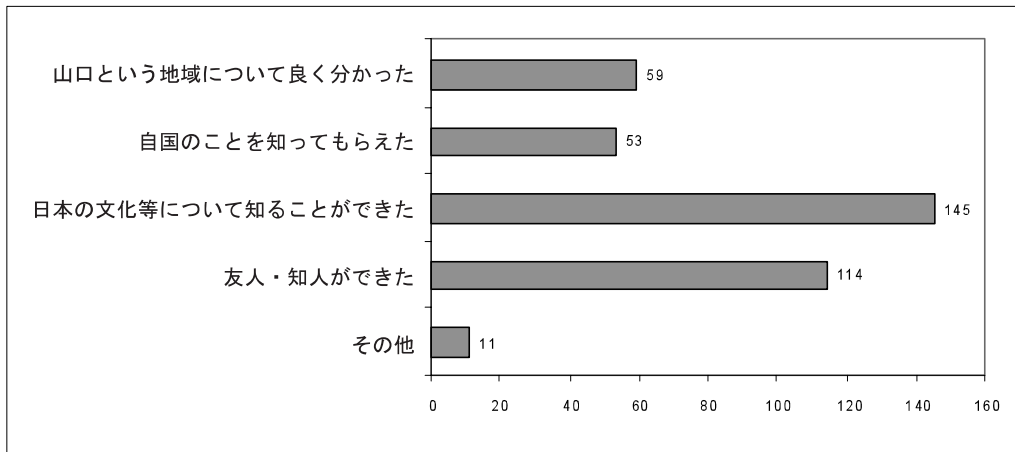


図17

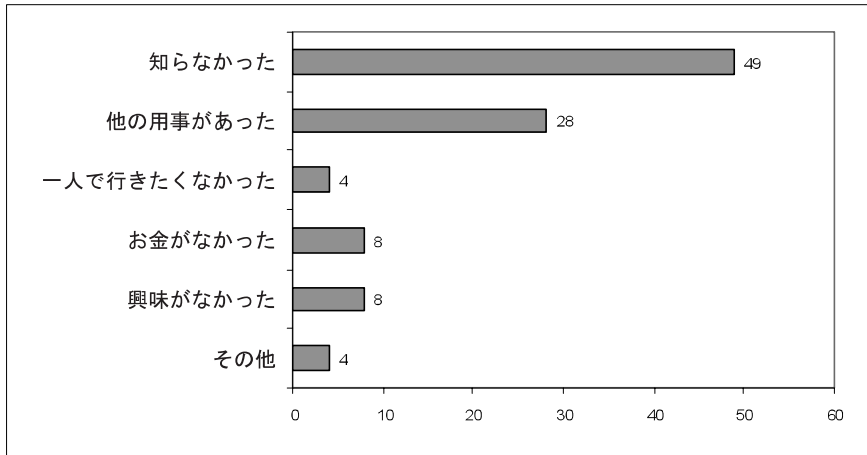


図18

次に、参加しなかったと回答した人に、どうして参加しなかったのかその理由をたずねた。その結果が図18である。

7.1 「あなたは山口大学に留学してよかったですか」と「あなたの知人・友人・後輩などで日本に留学したい人がいれば、山口大学を薦めますか」の二つの関連した質問が最後の質問である。

図19は、「山口大学に留学してよかったと思うか」という問いの回答であるが、「とてもよかった」と「まあよかった」の回答をあわせると166で、回答者全体の81%強の回答者は山口大学に留学して「よかった」と感じていることになる。

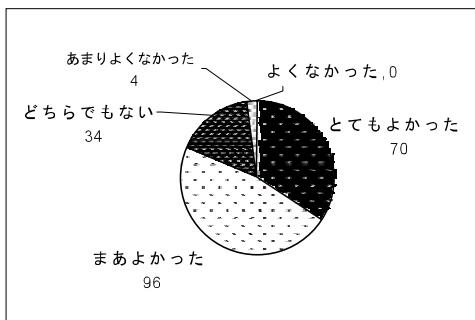


図19

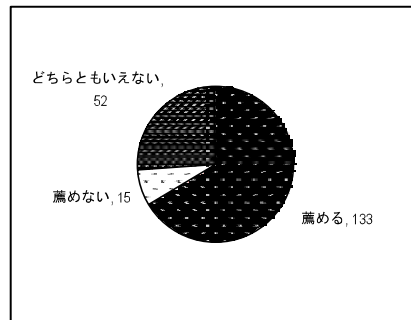


図20

7.2 図20は、「知人・友人・後輩に山口大学を薦めるか」という問いへの回答であり、回答者全体の66.5%の人が「薦める」と答えている。一方、26%の学生が「どちらともいえない」と答えており、さらに、7.5%、15人ではあるが「薦めない」と答えている。この質問については、理由の説明を書く欄があるので、以下にその理由を紹介する。

【薦める理由】

- ・研究・学習環境が優れている / 研究レベルが高い (9)
- ・教師が優れている / 親切 (7)
- ・教育内容・システムが優れている (4)
- ・安心して勉強・研究ができる (2)
- ・暮らしやすい / 生活費が安い (5)

- ・ 気候がよい / 自然が多く、歴史的な場所だから
- ・ 勉強に邪魔になるものがない
- ・ 授業料免除制度がある

【薦めない / どちらともいえない理由】

- ・ 山口大学だけでなく留学ということ薦めません。国費留学はいいけども私費留学の生活はとてつらいからです
- ・ 自然はいいけど、交通などが不便
- ・ 山口大学の競争力が低いと思う、山口市は田舎
- ・ 山口大学は自分にとって良い大学かもしれない。彼らにあっていのかどうか分かりませんので、どちらともいえないです
- ・ 専門による
- ・ アルバイトを探すのが難しい
- ・ 今後山口大学が国立大学として残るかどうかわからない

7.3 「勉強や生活、留学生センターなどについて困っていることや意見・希望などがあれば、自由に書いてください」

以下に、そのコメントを原文のまま紹介する。

【経済的な問題に関わること】

- ・ 私費留学生ならどの学部の学生でも苦しいと思いますが、農学部のような毎日実験をしなければならぬ学部ではアルバイトする時間もほとんどないので、できれば奨学金を増やして欲しいです。奨学金をもらえるには学部の順番があって、また学部内の順番があるが、農学部のように実験の多い学部を他の学部と一緒にして順番をつけるのは適切ではないことではありませんでしょうか。
- ・ 大学はもっと安いアパートを用意すべき。これによって留学生はアルバイトよりも勉強に集中できる。国際交流会館の隣の宿舎を留学生がすねるように改装する。
- ・ 勉強はおもしろいと思いますが、日本の生活費用があまりにも高いので、食べ物以外何も買えなくて、どこにも行けなくて、日本にもう2年以上いるのに日本という国は山口しか知らないくらいで、本当に残念だなあと感じます。
- ・ 勉強が忙しくてアルバイトがなかなかできません。
- ・ 私は勉強と生活の中で一番困っているのは勉強に使う時間とバイトに使う時間の矛盾があ

ります。つまり、生活維持のためにバイトしなくてはならないし、勉強にかかる時間が減らすしかならないのです。

- ・ 山口大学では発展途上国から来た留学生が多いようですが、収入レベルと消費レベルが高い日本国には比べものにならないのです。今の奨学金制度を見直したほうがいいと思います。つまり、今の少人数だけがもらえる奨学金の大部分を取り外して、多人数がもらえるようなシステムを立てるほうが必要だと思います。
- ・ 今は自分で学費を稼ぎながら大学に通っています。日本人にとっても大学に行くことがそんなに簡単ではありません。留学生にとってもっと難しいこと苦しいことがある。今は学部の3年生ですけれども、毎年奨学金を申請するのですが一回も自分に回ってこないです。自分の友達は日本のほかの大学で奨学金をもらったことがあるか、今もらっていますかどちらか、自分は何で一回ももらえないのかよく分かりません。もうちょっと奨学金を増やして欲しいと思います。また、奨学金についての情報もたくさん掲示して欲しいと思います。
- ・ もっと奨学金を増やして欲しいです。たとえば鳳陽会および他民間団体の出資で学内で作るべきです。他大学はこのような奨学金はよく見られますが、山口大学はなぜできないのでしょうか。もっと留学生の人数を増やしたいならば、奨学金制度の充実をしないと、留学生はほとんど他大学に行ってしまうような気がします。
- ・ 大学内（図書館、生協など）のアルバイトを留学生に提供した方がいい。
- ・ 学業に影響のない程度に高い家賃のためにアルバイトをしているが、大変。

【留学生支援体制について】

- ・ 今学業が心配なのに、現在まだチューターが決まっていない。一日も早くチューターをつけてもらえるように留学生センターに協力をお願いします。
- ・ 1年次のチューターは役に立たなかった。チューターは2、3年次につけて欲しい。学部の授業の方が1年次より難しいので。
- ・ 3年次、チューターがないが、チューターをつけて欲しい。

【日本語・日本事情の授業・日本文化の学習について】

- ・ 日本語学習の6ヶ月はことばを理解し授業に

ついていくには短すぎる。少なくとも1年は必要。

- ・日本語がぜんぜん分からない学生には、最初の6週間は授業の速度をゆっくりすべき。可能なら英語に訳しながら。このことはことばのしっかりした基礎を築くために重要。
- ・書道のような活動が大好きです。茶道と花道も勉強したいです。

【教官に関わること】

- ・教官は外国人も日本人と同じ人間であることを若い人に言うべきである。外国人を人前で笑ったり、馬鹿にしたりすることなく、人間として尊重して欲しい
- ・困ったことがたくさんあるけど、相談できる相手は友達しかいません。本当は学校の先生に相談したい、理解してもらいたいです。
- ・先生方が、留学生にもう少しやさしくしてほしい。

【大学の情報発信に関すること】

- ・英語での情報発信が不足、書類は英語で用意して欲しい
- ・英語の図書が図書館に不足
- ・英語環境のコンピュータを図書館に設置
- ・図書館の書籍がいつも研究室長期貸し出しになっている
- ・HP中国語版を希望

【その他】

- ・国流(国際交流会館)の居住期間が短く、引越しが続き、生活が落ち着かなかった。国流から出た後、関係ないという態度をしないで、私費留学生を支援してほしい。
- ・食堂が他大学に比べて非常によくない、自炊しなくてはならなく、勉強に支障が出る

8. 終わりに

以上のアンケートの回答結果を見てくると、留学生の81%は山口大学に留学して「よかった」としており、いろいろな問題はあってもものの総合的には本学の留学生受け入れ及びその後の勉学、研究体制には高い満足度を示していると言って良いだろう。先の「国際的な連携及び交流活動」の自己評価でも評価委員会は留学生の山口大学に対する満足度は高いと評価している。しかし、知人・友人・後輩に山口大学を薦めるかという質問に対す

る肯定的回答は67.5%である。「よかった」という回答の81%と「薦める」の67.5%の差はどのように説明したらいいのであろうか。山口大学に入学して「よかった」とは思うが、他人には薦めないという留学生が14%近くいるのである。

留学生の声を真摯に受け止め、本学の勉学・研究の環境を改善し、留学生の支援体制を充実させるよう全学的に取り組んでいかなければならないだろう。

(国際センター 教授)

注1) 質問項目の作成及び集計に当たっては5名のセンター教員及び留学生課の職員が担当した。実施に当たっては各学部留学生担当の職員の方々のご協力を得た。アンケートの結果は上記の評価に簡単に述べられているが、回答の結果は今後の留学生受け入れ及び支援のあり方を考える上で大変参考になるはずであるとの判断で小生が急ぎまとめた。本稿では、回答結果に基づき筆者のコメントや提案をしている箇所もあるが、それらは筆者の個人的な見解であり、留学生センター(現国際センター)の統一見解ではないことをお断りしておかなければならない。

注2) 山口大学には上記の留学生のほかに、外国からの研究者が滞在している。研究者は本学の教員が指導教員もしくは共同研究者として受け入れ、その滞在期間も数週間から数ヶ月と様々である。本学の留学生の受入等の事務的な世話は留学生課が担当しているが、研究者の受け入れについては、国際センターの国際企画課が主に担当している。出入りが多いので現時点での正確な研究者数は把握できていないが、14年度には194名の研究者が山口大学で研究を行なった。

注3) 文科省が長年取り組んできた留学生10万人受け入れ目標も達成され、留学生受け入れの政策が量より質へ転換された現在、単に留学生の数を増やすことが国際化の指標となるわけではないが、今後留学生の受け入れのための環境の整備は急務となろう。

【参考】

6月16日(月)までに指導教官（または学務係）に提出してください。
日本語、英語、中国語、韓国語のいずれかのひとつを提出してください。

アンケートの答え方がわからない人は、各学部の留学生係・チューター・指導教官・留学生センターに聞いてください。

留学生に対するアンケート

山口大学留学生センター
(センター長：中村幸士郎)

留学生に対するサポートの資料としますので、以下の質問に答えてください。ことばで答えるところ(回答の「その他」など)は、日本語・英語・フランス語・ドイツ語・中国語・ハングルのどれかの言語を使って、読みやすい字で書いてください。

- (Q 1) あなたの学部・大学院はどこですか。一つ選んで をつけてください。
- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) 人文学部・人文科学研究科 | (2) 教育学部・教育学研究科 |
| (3) 経済学部・経済学研究科 | (4) 理学部・理工学研究科 |
| (5) 医学部・医学研究科・応用医工学研究科 | (6) 工学部・理工学研究科 |
| (7) 農学部・農学研究科 | (8) 東アジア研究科 |
| (9) 連合獣医学研究科 | (10) 鳥取大学大学院連合農学研究科 |
- (Q 2) あなたの身分は何ですか。一つ選んで をつけてください。
- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 学部学生 | (2) 大学院マスターコース学生 |
| (3) 大学院ドクターコース学生 | (4) 特別聴講学生(交換留学生) |
| (5) 研究生 | (6) その他() |
- (Q 3) あなたはどこの国から来ましたか。()
- (Q 4) あなたはいつまで山口大学に在る予定ですか。一つ選んで をつけてください。
- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 学部を卒業するまで | (2) マスターコースを修了するまで |
| (3) ドクターコースを修了するまで | (4) 交換留学生として1年間 |
| (5) その他() | |
- (Q 5) あなたが山口大学を選んだ理由は何ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。
- | |
|--|
| (1) 国費留学生として |
| (2) 自分の出身大学と山口大学との間で大学間協定・学部間協定が結ばれているので |
| (3) 自分が指導を受けたい先生が山口大学に在るので |
| (4) 自分と同じ国の友人・知人が山口大学に在るので |
| (5) 日本人の友人・知人が山口大学に在るので |
| (6) 大学外の友人・知人が山口(または宇部)に在るので |
| (7) 自分の出身国で山口大学を薦められたので |
| (8) 山口大学の留学説明会に参加して |
| (9) 山口大学のホームページや大学案内パンフレットを見て |
| (10) その他() |
- (Q 6) あなたはどのくらい日本に住んでいますか。一つ選んで をつけてください。
- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| (1) 半年 | (2) 1年 | (3) 2年 | (4) 2年以上 |
|--------|--------|--------|----------|
- (Q 7) あなたはどのくらい山口大学に在りますか。一つ選んで をつけてください。
- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| (1) 半年 | (2) 1年 | (3) 2年 | (4) 2年以上 |
|--------|--------|--------|----------|
- (Q 8) 山口大学での勉強で困っていることがありますか。いくつでもいいですから、 をつけてください。
- | |
|---------------------------------|
| (1) 授業の内容がむづかしい |
| (2) 専門の授業の日本語がむづかしい |
| (3) 先生が授業中に黒板やホワイトボードに書く字が読みにくい |

- (4) パソコンがうまく使えない
- (5) 図書館やメディア基盤センターなどの利用の仕方がよくわからない
- (6) どの授業を受ければいいのか、カリキュラムがよくわからない
- (7) 日本人の学生よりも勉強に時間がかかる
- (8) チューターとうまく行かない
- (9) その他()

(Q9) 勉強についての山口大学のサポート体制(先生の指導・チューター制度など)にどれくらい満足していますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) とても満足している (2) まあ満足している (3) どちらとも言えない
- (4) 少し不満である (5) とても不満である

(Q10) 毎日の生活で困ることは何ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 日本語の日常会話がうまくできない
- (2) アパート代など住居費が高い
- (3) 日本の物価が高い
- (4) 大学内の建物や部屋などの場所がどこにあるのか、わかりにくい
- (5) 友人や知人ができない
- (6) アルバイトが見つからない
- (7) 日本の食べ物が食べられない
- (8) 服や靴などで自分に合うサイズのものがない
- (9) バスなどの公共交通機関が不便である
- (10) 外国人として差別される
- (11) その他()

(Q11) 山口での生活にどれくらい満足していますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) とても満足している (2) まあ満足している (3) どちらとも言えない
- (4) 少し不満である (5) とても不満である

(Q12) 留学生に対する山口大学のサポート体制がどうなっているか(困った時にどこへ行けばいいかなど)、あなたは知っていますか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) オリエンテーションで説明を受けたので、よく知っている
- (2) オリエンテーションで説明を受けたので、少しは知っている
- (3) オリエンテーションで説明を受けたが、よく知らない
- (4) オリエンテーションに欠席したので、よく知らない
- (5) 留学生センターのホームページに書いてあるので、よく知っている
- (6) 留学生センターのホームページに書いてあるので、少しは知っている
- (7) 留学生センターのホームページを見たことがあるが、よく知らない
- (8) 留学生センターのホームページがあることを知らない
- (9) 留学生のためのガイドブックに書いてあるので、よく知っている
- (10) 留学生のためのガイドブックに書いてあるので、少しは知っている
- (11) 留学生のためのガイドブックをもらったが、読んでいないので、よく知らない
- (12) 留学生のためのガイドブックをもらっていないので、よく知らない

(Q13) あなたはチューター制度を知っていますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) はい (Q14)へ (2) いいえ (Q16)へ

(Q14)(Q13)で「はい」と答えた人に聞きます。あなたはチューター制度に満足していますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) とても満足している (2) まあ満足している (3) どちらとも言えない
- (4) 少し不満である (5) とても不満である

(Q15)(Q14)で(3),(4),(5)を選んだ人に聞きます。チューター制度のどこが不満ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) チューターの人数が少ない
- (2) チューターが忙しくて、留学生のための時間があまりないこと
- (3) わからないことを聞いても、チューターがきちんと答えられない

(4) チューターがあまり親切でない

(5) その他 ()

(Q16) 困った時にだれに相談しますか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 指導教官 (2) 指導教官ではないが知っている先生
 (3) 自分の学部の事務の人 (4) 留学生センター
 (5) チューター (6) 自分と同じ国から来た留学生
 (7) 自分と違う国から来た留学生 (8) 日本人の学生
 (9) 大学外の友人・知人 (10) その他 ()

(Q17) 学内や学外で親しい友人・知人は何人くらいいますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) 0人 (2) 1～5人 (3) 6～10人 (4) 11人以上

(Q18) 山口大学での留学生活で改善してほしいことがありますか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 国際交流会館などの安い宿舎をもっと増やしてほしい
 (2) いろいろな奨学金の受給者の数をもっと増やしてほしい
 (3) チューター制度をもっと充実してほしい
 (4) 日本語・日本事情の授業をもっと増やしてほしい
 (5) 日本文化や日本事情についての行事をもっと行なってほしい
 (6) 留学生どうし、あるいは日本人学生と知り合う機会をもっと増やしてほしい
 (7) 集会やパーティーを開くための部屋をもっと増やしてほしい
 (8) 学生食堂のメニューで、留学生が食べやすいもの(宗教上の理由で食べられないものを考慮したメニューなど)をもっと増やしてほしい
 (9) アルバイトをもっと紹介してほしい
 (10) その他 ()

(Q19) あなたは大学が行なう留学生のための行事に参加したことがありますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) はい⇒(Q20),(Q21),(Q22)へ (2) いいえ⇒(Q23)へ

(Q20) (Q19)で「はい」と答えた人に聞きます。その行事はどこが行ないましたか。いくつでもいいですから、 をつけてください。(Q21),(Q22)にも答えてください。

- (1) 留学生センター (2) 学部 (3) 学科 (4) 研究室
 (5) わからない (6) その他 ()

(Q21) それはどんな行事でしたか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 留学生フレッシュマンセミナー/新留学生研修会 (2) 研修旅行
 (3) 懇談会・交流会 (4) パーティー (5) りんご狩り・みかん狩りなど
 (6) その他 ()

(Q22) 行事に参加してよかったことは何ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 山口大学や学部・学科などについて、よくわかるようになった
 (2) 自分の出身国の文化などを知ってもらえてうれしかった
 (3) 日本の文化などについて知ることができた
 (4) 友人や知人ができた
 (5) その他 ()

(Q23) (Q19)で「いいえ」と答えた人に聞きます。行事に参加しなかった理由は何ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) そのような行事があることを知らなかった
 (2) 参加したいと思ったが、他の用事があった
 (3) 参加したいと思ったが、自分一人だけでは行きたくなかった
 (4) 参加したいと思ったが、お金がなかった
 (5) 行事に対して興味がなかった
 (6) その他 ()

(Q24) あなたは地域の人たちとの国際交流の行事に参加したことがありますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) はい⇒(Q25),(Q26),(Q27)へ (2) いいえ9613(Q28)へ

(Q25)(Q24)で「はい」と答えた人に聞きます。その行事はどこが行ないましたか。いくつでもいいですから、 をつけてください。(Q26),(Q27)にも答えてください。

- (1) 山口県 (2) 市町村 (3) 高校・中学校・小学校など
(4) 民間団体 (5) ボランティア (6) わからない
(7) その他()

(Q26) それはどんな行事でしたか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 田植えや稲刈りなど、地域の仕事の体験
(2) 講演会・シンポジウムなど
(3) 参加者が自分の国の料理を作って、みんなで食べる会
(4) 地域の祭りに参加した
(5) ホームステイ
(6) その他()

(Q27) 地域の国際交流の行事に参加してよかったことは何ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) 山口という地域について、よくわかるようになった
(2) 自分の出身国の文化などを知らえてうれしかった
(3) 日本の文化などについて知ることができた
(4) 友人や知人ができた
(5) その他()

(Q28)(Q24)で「いいえ」と答えた人に聞きます。行事に参加しなかった理由は何ですか。いくつでもいいですから、 をつけてください。

- (1) そのような行事があることを知らなかった
(2) 参加したいと思ったが、他の用事があった
(3) 参加したいと思ったが、自分一人だけでは行きたくなかった
(4) 参加したいと思ったが、お金がなかった
(5) 行事に対して興味がなかった
(6) その他()

(Q29) あなたは山口大学に留学してよかったと思いますか。一つ選んで をつけてください。

- (1) とてもよかった (2) まあよかった (3) どちらでもない
(4) あまりよくなかった (5) よくなかった

(Q30) あなたの知人・友人・後輩などで日本に留学したい人がいれば、山口大学を薦めますか。一つ選んで をつけてください。また、その理由も書いてください。

- (1) 山口大学を薦める (理由:)
(2) 山口大学を薦めない(理由:)
(3) どちらとも言えない(理由:)

(Q31) 勉強や生活、留学生センターなどについて困っていることや意見・希望などがあれば、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。